

決算説明会

2009年3月期第2四半期

2008年10月31日
ミネベア株式会社



1. 業績の説明

2. 方針と戦略

業績の説明

取締役 専務執行役員 加藤木 洋治

2Q累計連結業績ハイライト

- ・為替の悪影響、原材料高、世界景気減速などにより減収減益

(百万円)	2008年3月期	2009年3月期	前年同期比 伸び率	2009年3月期 上半期	
	上半期	上半期		期初計画	達成率
売上高	168,247	150,613	-10.5%	162,000	93.0%
営業利益	15,121	11,698	-22.6%	15,400	76.0%
経常利益	13,236	10,891	-17.7%	14,100	77.2%
税引前利益	12,196	10,102	-17.2%	13,500	74.8%
純利益	7,474	6,205	-17.0%	8,100	76.6%
一株当たり 純利益(円)	18.73	15.55	-17.0%	20.30	76.6%

為替レート	08/3期上半期	09/3期上半期	備考
US\$	119.64円	105.67円	()内は、タイ中央銀行発表オンショア・レート。 タイの短期資本流入規制は、2008年3月に撤廃されたため、これ以後、オンショア・レートとオフショア・レートとの大きな乖離は存在しなくなりました。
ユーロ	161.83円	163.65円	
タイバーツ	3.77円 (3.47円)	3.22円	
人民元	15.68円	15.25円	

2Q連結業績ハイライト

・1Q比では為替の悪影響が一服し、コスト削減により、増収増益

(百万円)	2008年3月期	2009年3月期		前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	2Q	1Q	2Q		
売上高	86,481	74,041	76,572	-11.5%	+3.4%
営業利益	8,006	5,083	6,615	-17.4%	+30.1%
経常利益	6,984	4,685	6,206	-11.1%	+32.5%
税引前利益	6,720	4,057	6,044	-10.1%	+49.0%
四半期純利益	4,341	2,635	3,570	-17.7%	+35.5%
一株当たり 四半期純利益(円)	10.88	6.60	8.95	-17.7%	+35.5%

為替レート	08/3期2Q	09/3期1Q	09/3期2Q	備考
US\$	119.42円	103.36円	107.97円	()内は、タイ中央銀行発表オンショア・レート。 タイの短期資本流入規制は、2008年3月に撤廃されたため、これ以後、オンショア・レートとオフショア・レートとの大きな乖離は存在しなくなりました。
ユーロ	162.43円	161.48円	165.81円	
タイバーツ	3.84円 (3.49円)	3.24円	3.20円	
人民元	15.80円	14.72円	15.77円	

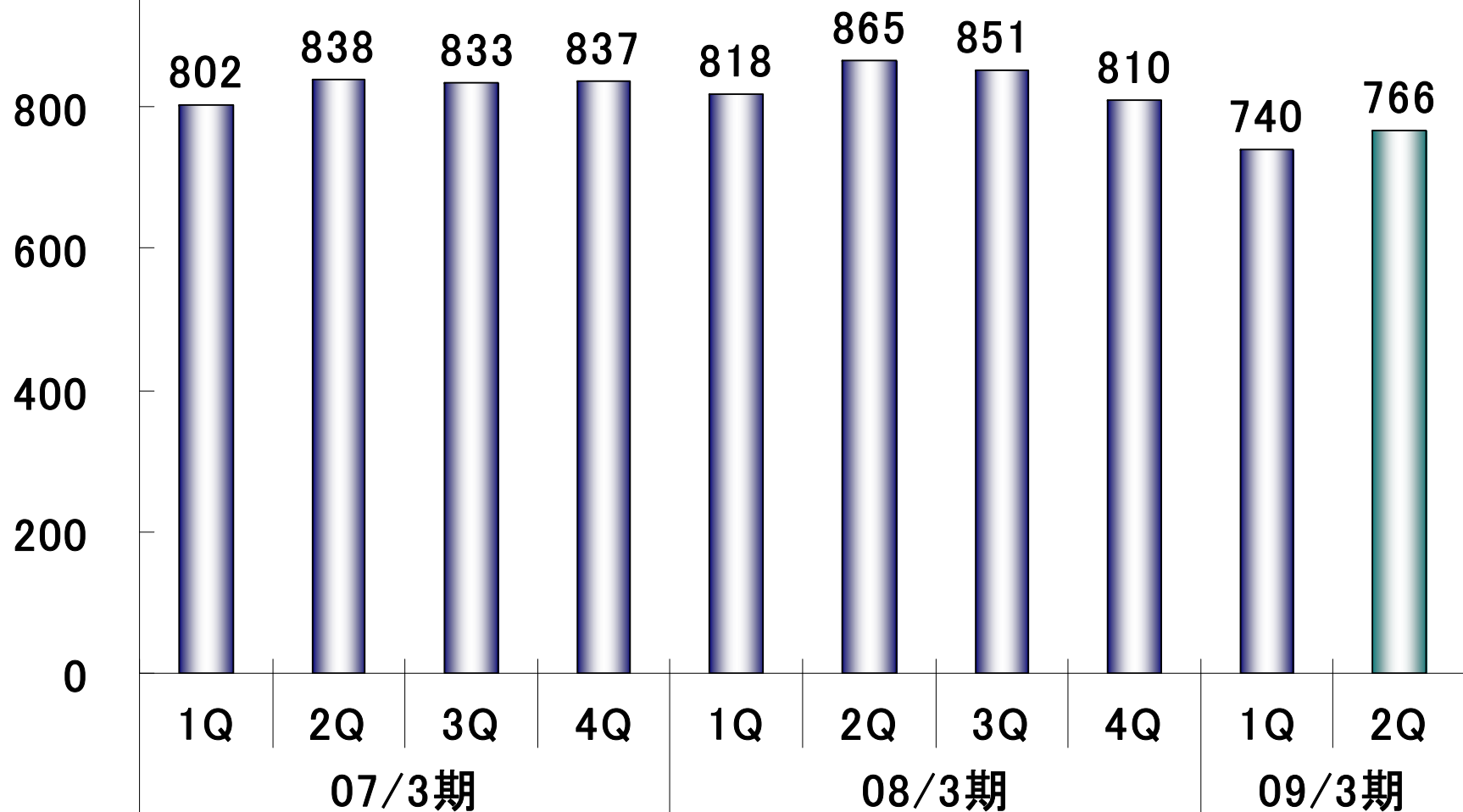
四半期推移

売上高

(億円)

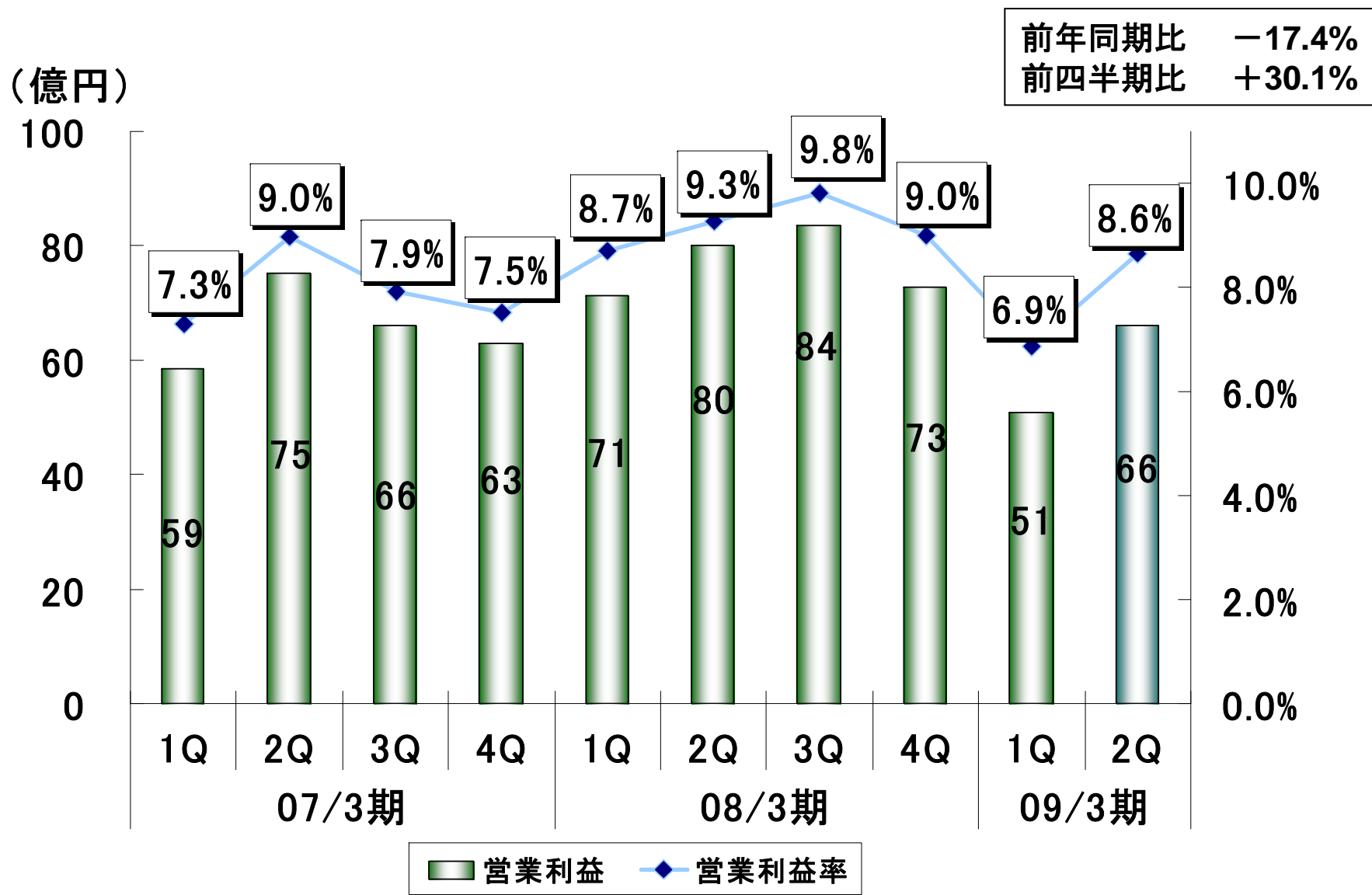
1,000

前年同期比 -11.5%
前四半期比 +3.4%

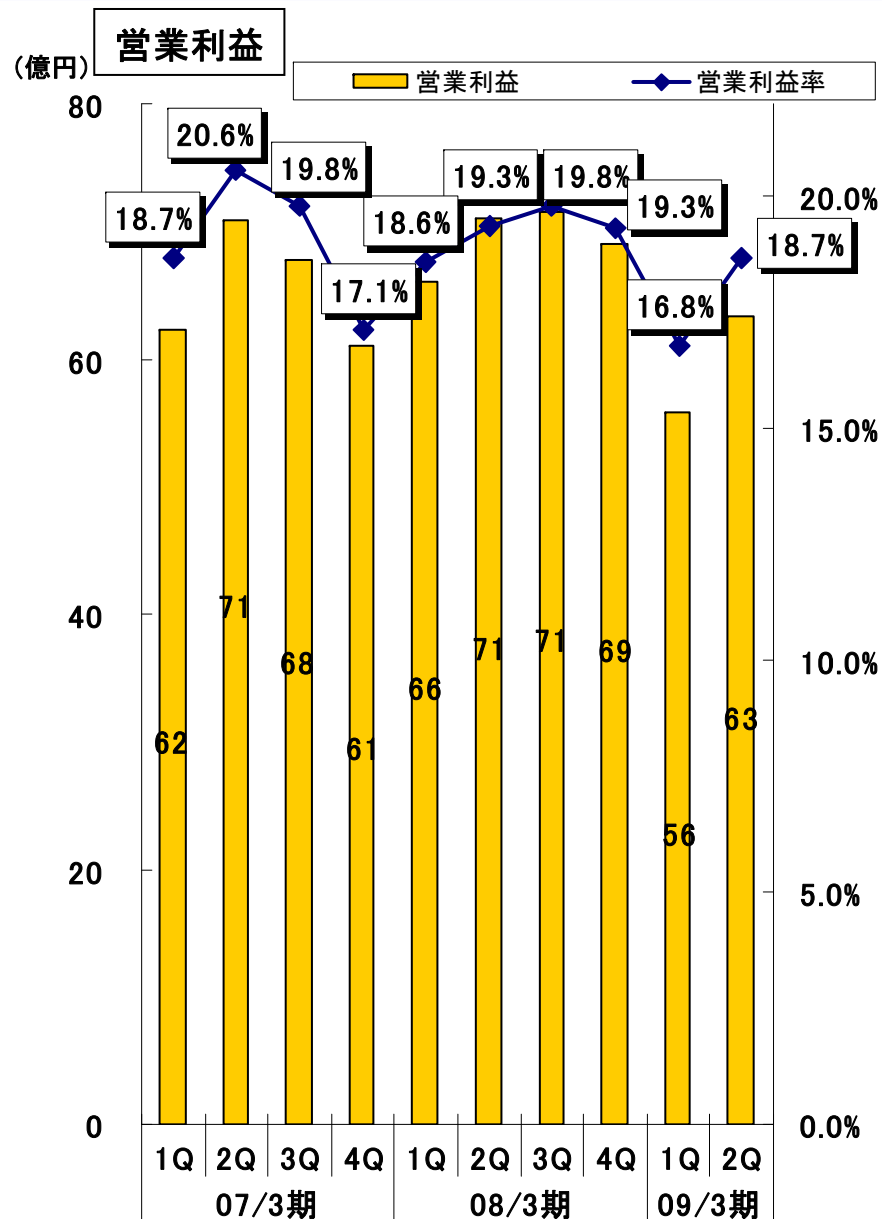
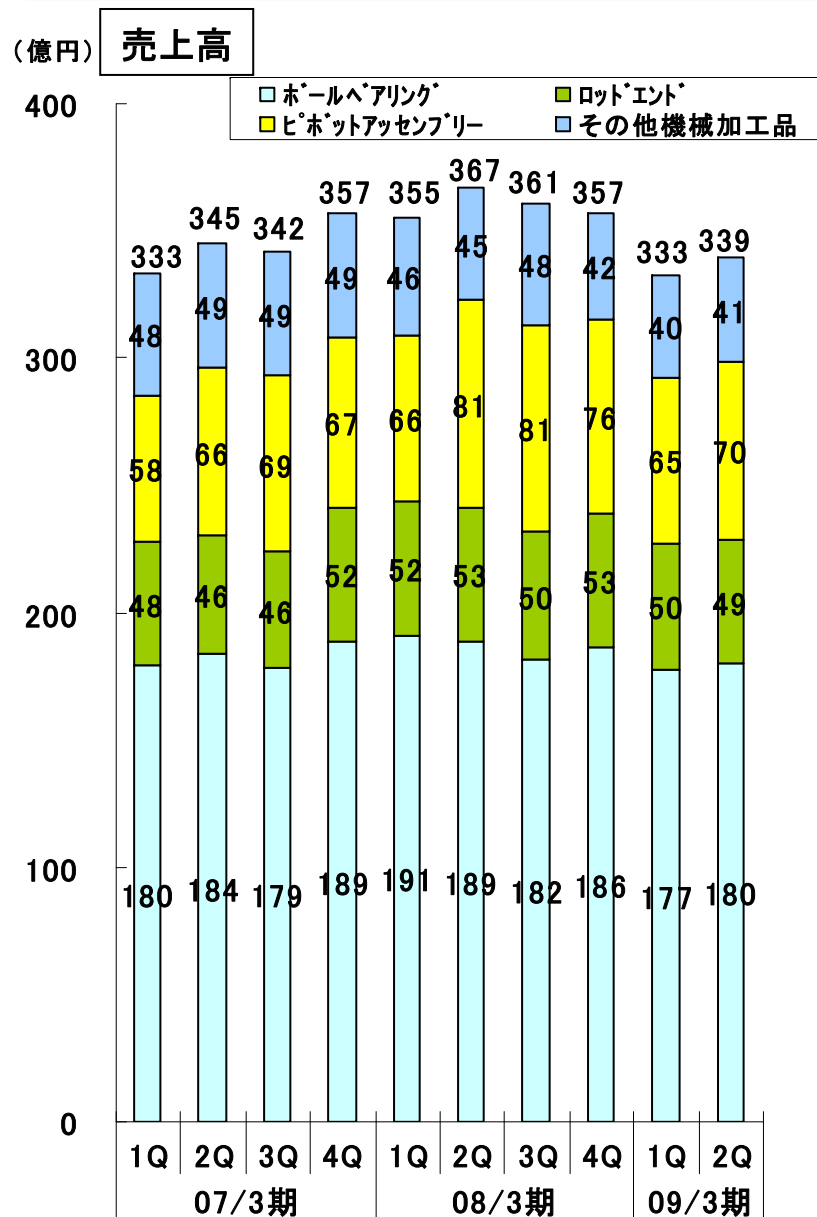


四半期推移

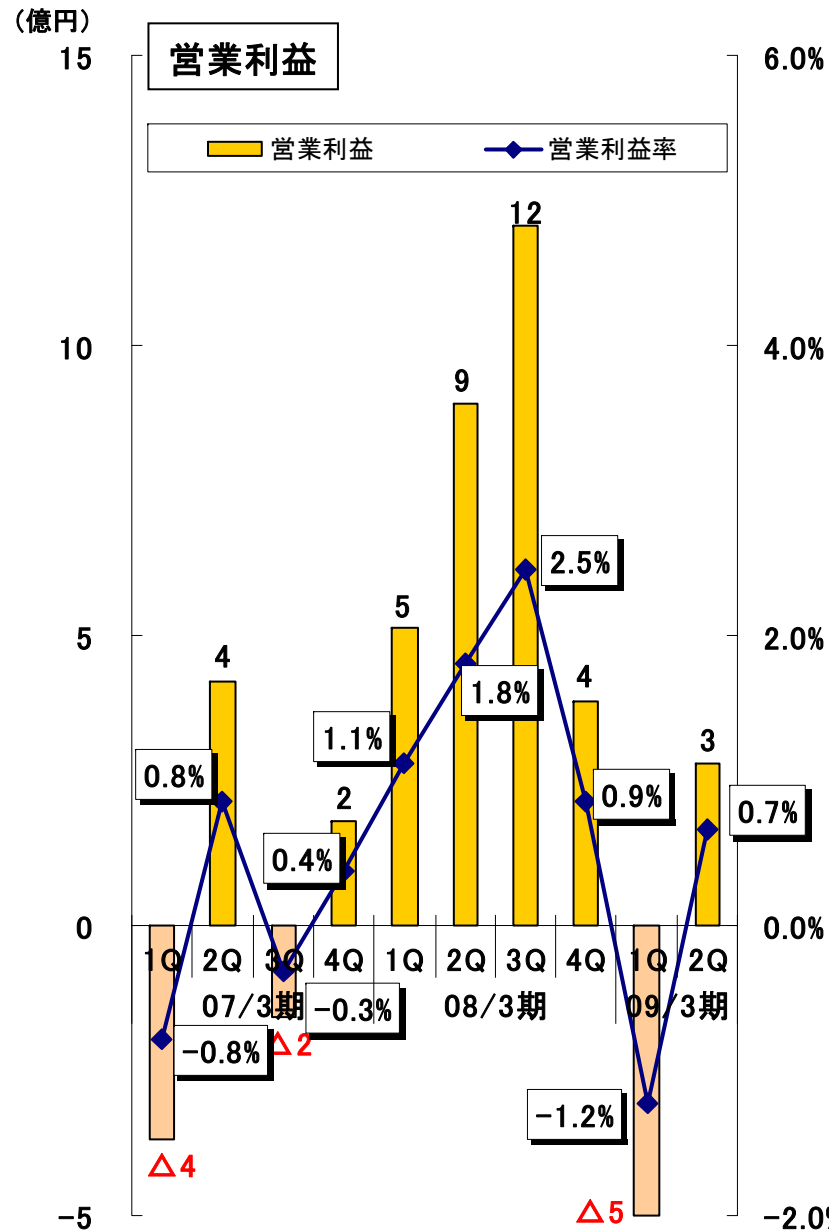
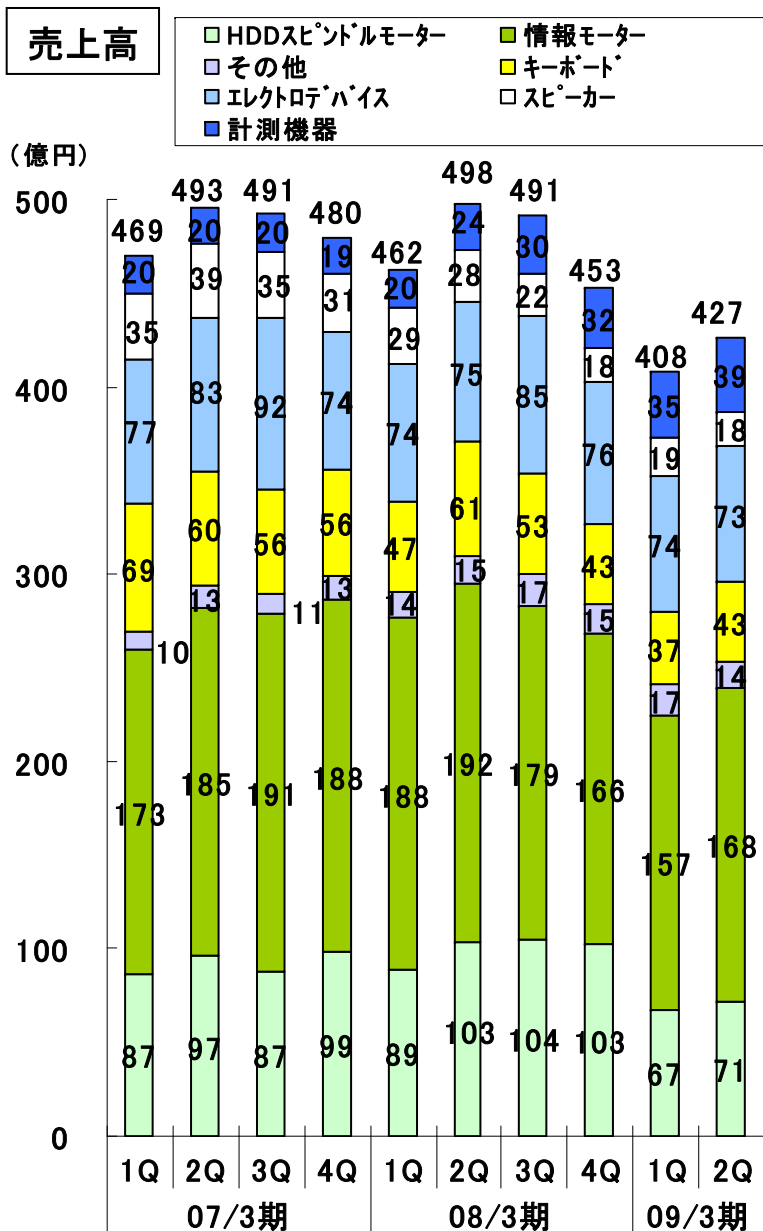
営業利益



セグメント別四半期推移 機械加工品事業



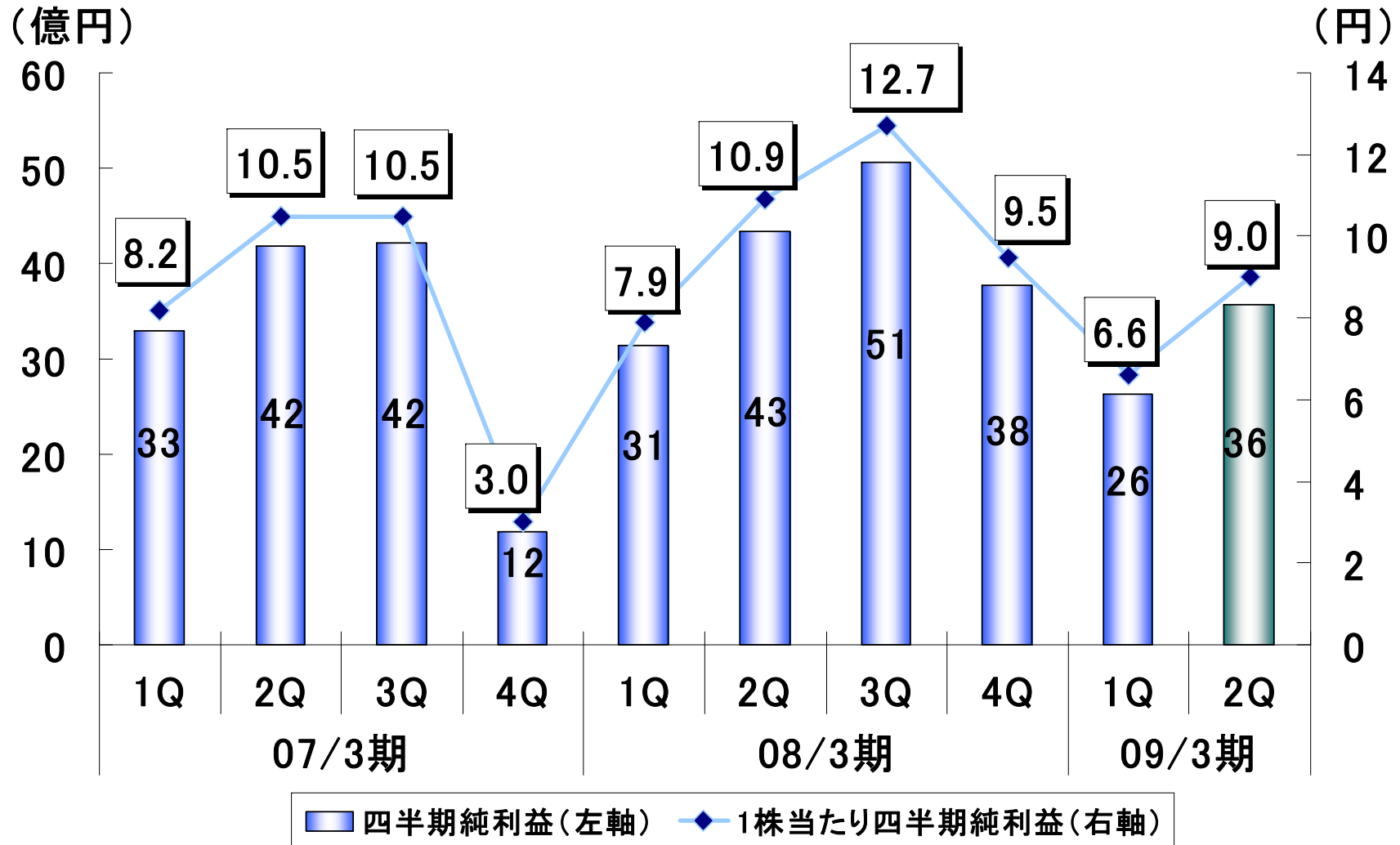
セグメント別四半期推移 電子機器事業



四半期推移

四半期純利益

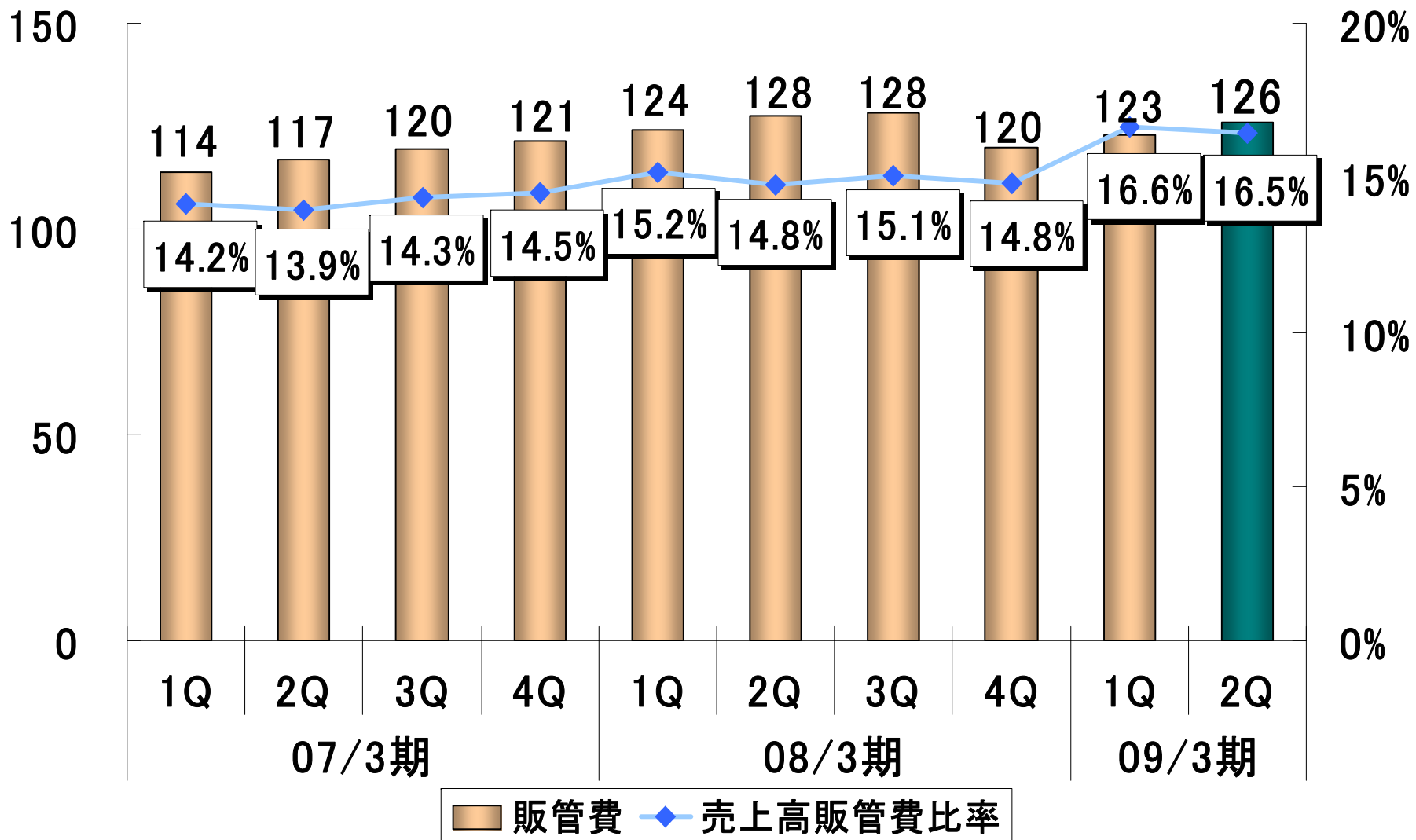
前年同期比	-17.7%
前四半期比	+35.5%



四半期推移

販管費

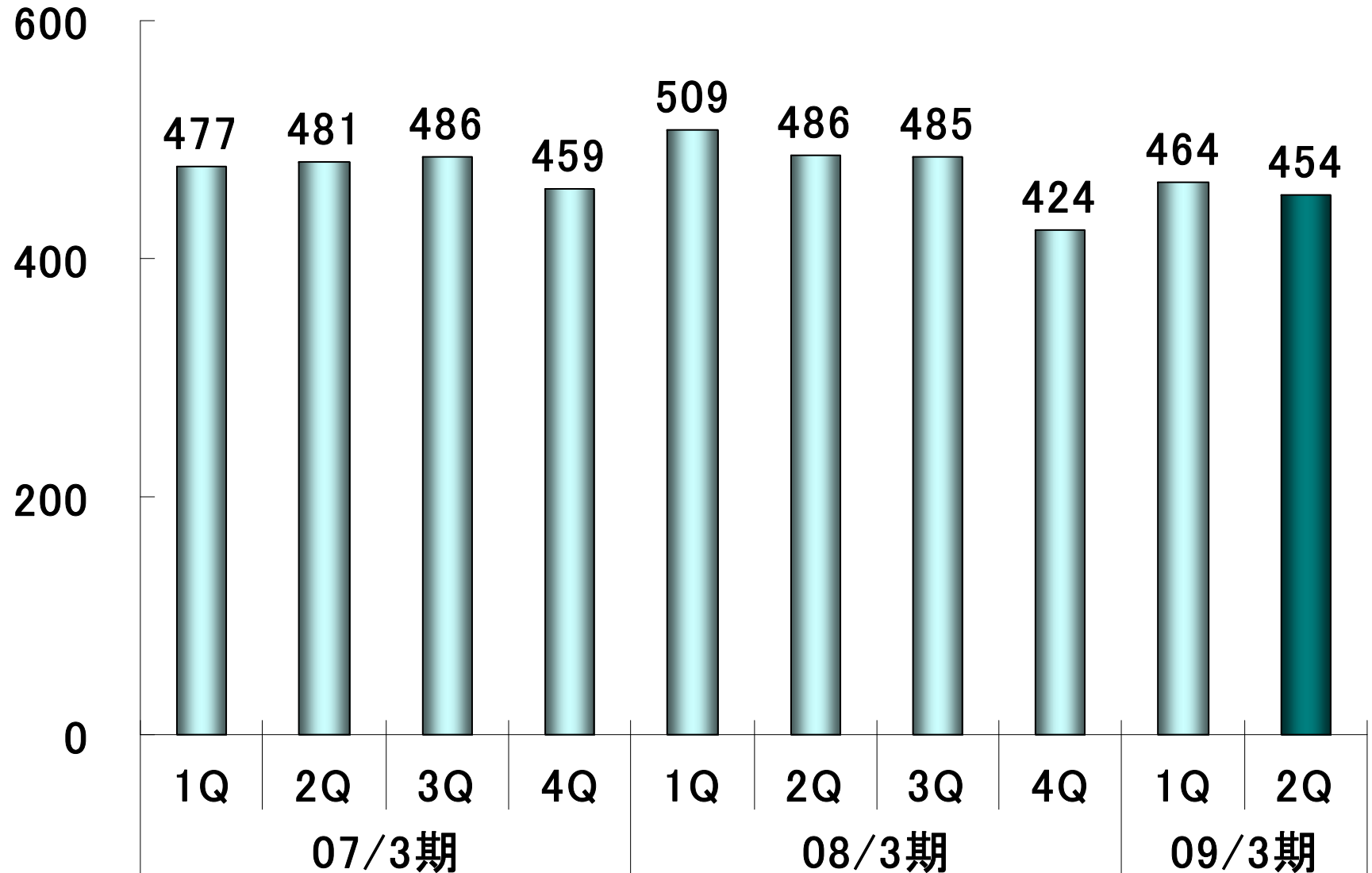
(億円)



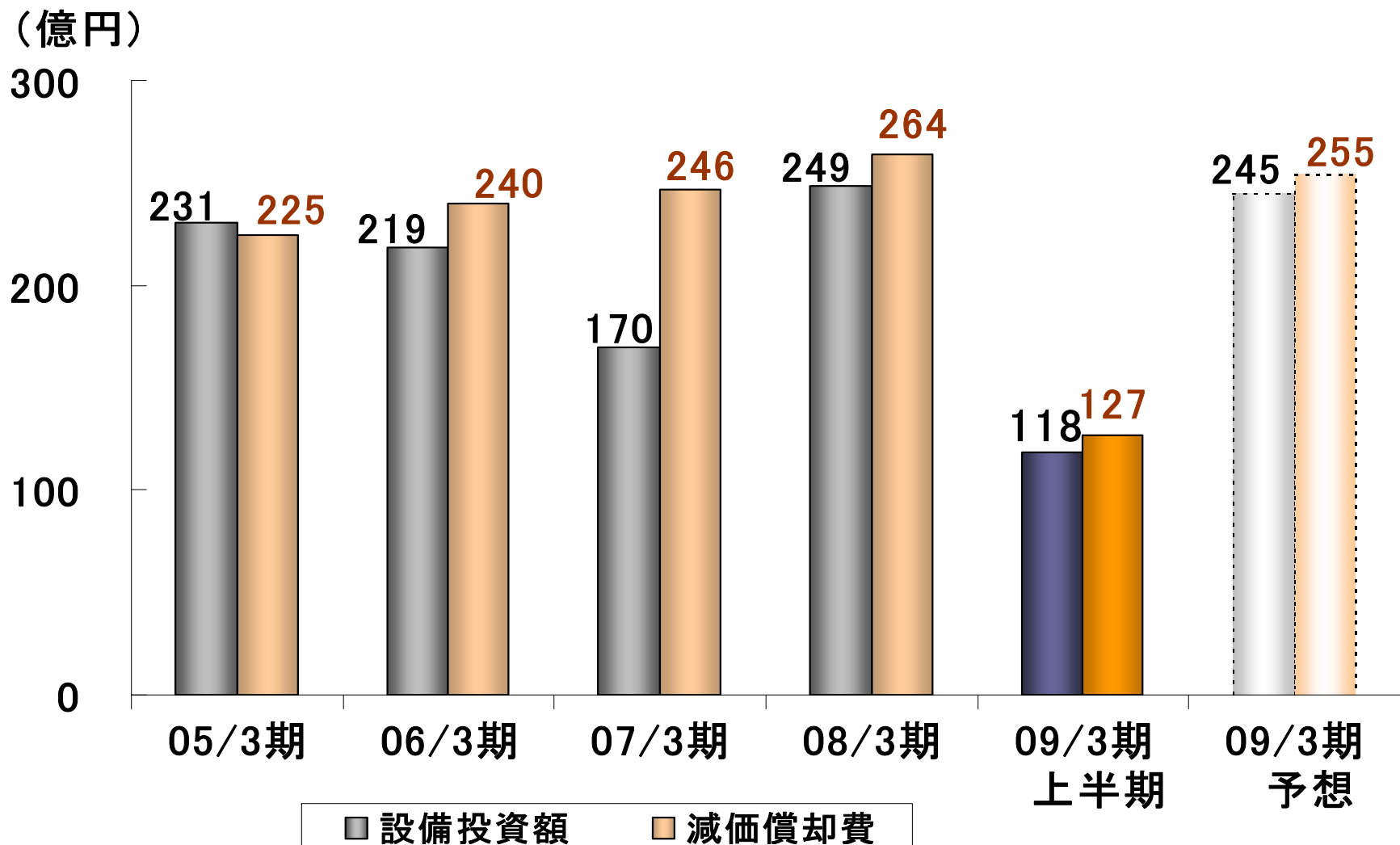
四半期推移

たな卸資産

(億円)



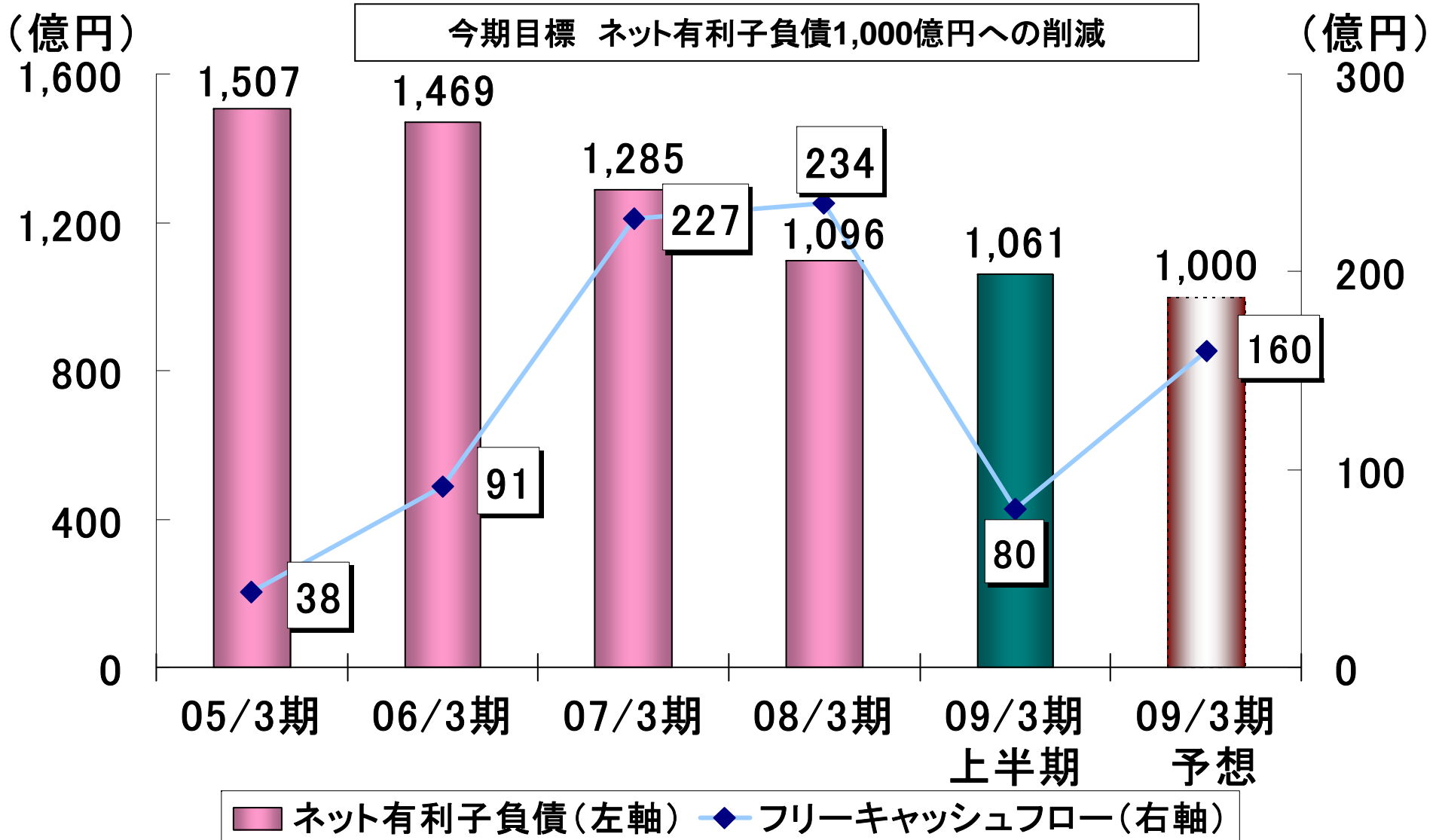
年推移 設備投資額・減価償却費



※09/3期よりリース会計処理変更に伴い、ファイナンス・リース資産を計上しています。

年推移

ネット有利子負債



ネット有利子負債 : 有利子負債合計 - 現預金
 フリーキャッシュフロー : 営業活動CF + 投資活動CF

業績予想

世界景気の減速、為替市場の変動を受け、通期予想を下方修正

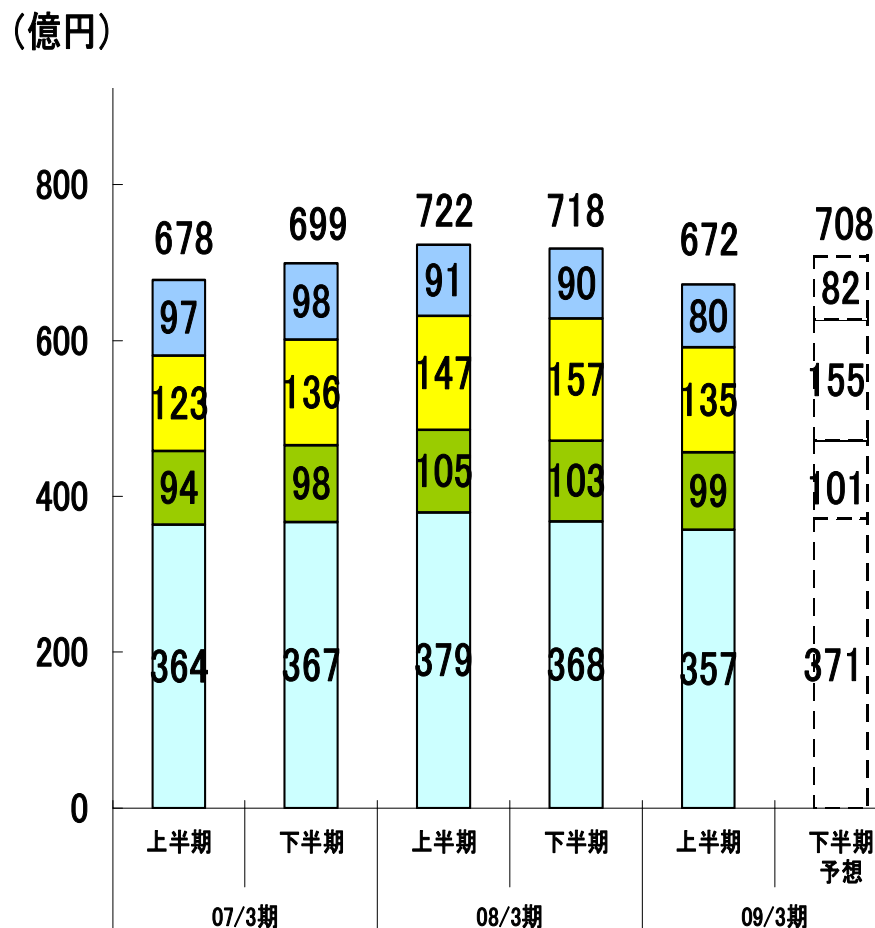
(百万円)	2008年3月期	2009年3月期修正予想				従来予想		
	通期	上半期実績	下半期予想	通期予想	前期比	下半期	通期	通期減少額
売上高	334,431	150,613	149,387	300,000	-10.3%	168,000	330,000	-30,000
営業利益	30,762	11,698	13,302	25,000	-18.7%	16,600	32,000	-7,000
機械加工品	27,750	11,916	12,084	24,000	-13.5%	14,300	28,000	-4,000
電子機器	3,012	-218	1,218	1,000	-66.8%	2,300	4,000	-3,000
経常利益	27,691	10,891	12,109	23,000	-16.9%	15,400	29,500	-6,500
税引前利益	25,254	10,102	11,898	22,000	-12.9%	15,000	28,500	-6,500
純利益	16,303	6,205	6,295	12,500	-23.3%	8,900	17,000	-4,500
一株当たり 純利益(円)	40.86	15.55	15.78	31.33	-23.3%	22.31	42.61	-11.28

為替レート	08/3期	09/3期上半期	09/3期下半期 想定	09/3期想定	備考
US\$	115.29円	105.67円	105.00円	105.34円	()内は、タイ中央銀行発表オンショア・レート。 タイの短期資本流入規制は、2008年3月に撤廃されたため、 これ以後、オンショア・レートとオフショア・レートとの大きな乖 離は存在しなくなりました。
ユーロ	162.18円	163.65円	140.00円	151.83円	
タイバーツ	3.70円 (3.39円)	3.22円	3.00円	3.11円	
人民元	15.40円	15.25円	15.00円	15.13円	

セグメント別売上高予想

機械加工品セグメント売上高

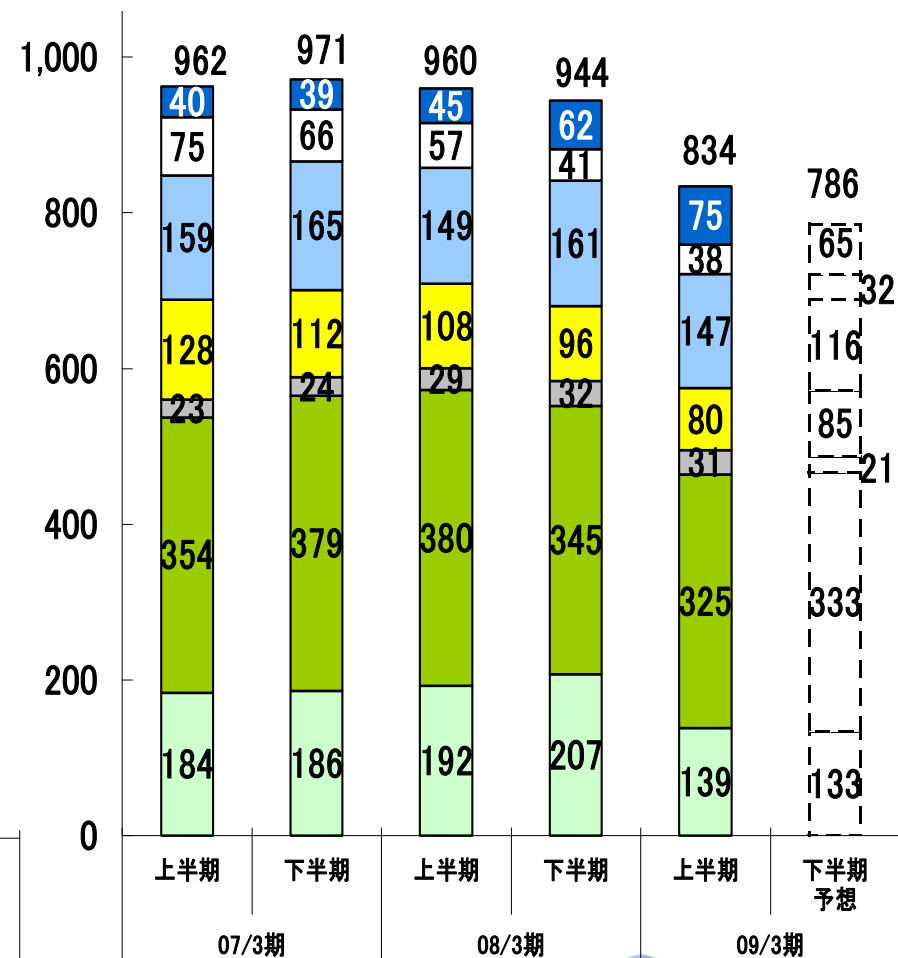
- ホールベアリング
- ロットメント
- ピンポイントアセンブリー
- その他機械加工品



電子機器セグメント売上高

- HDDスピンドルモーター
- その他
- エレクトロデバイス
- 計測機器
- 情報モーター
- キーボード
- スピーカー

(億円)

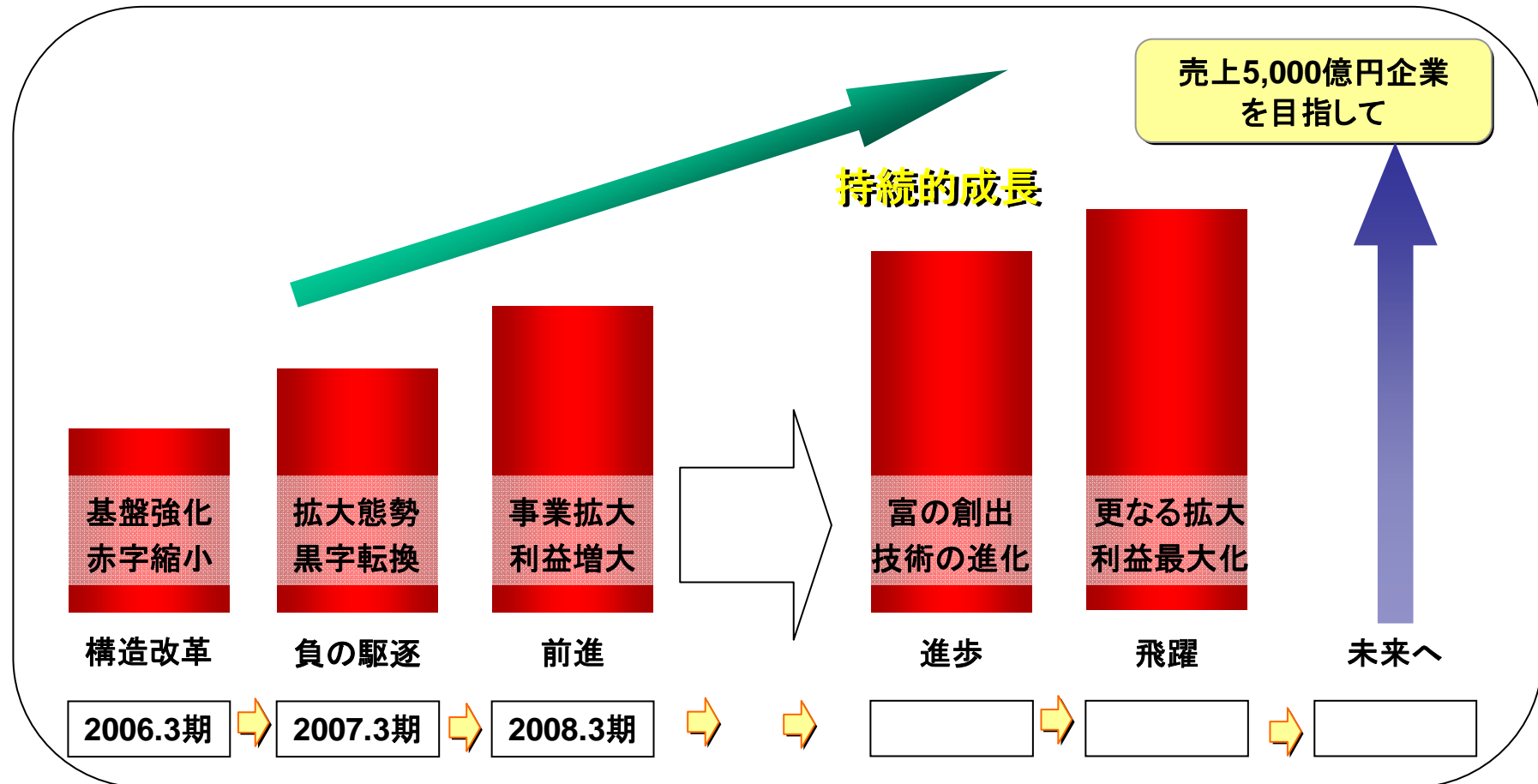


方針と戦略

代表取締役 社長執行役員 山岸 孝行

成長へ向けた基本方針

- ・売上5,000億円を目指す基本方針は変更しない
- ・現在の環境下での時間軸の後退は止むを得ない



悪化する事業環境下での取組み

成長事業への積極投資

事業環境好転時へ向けた施策

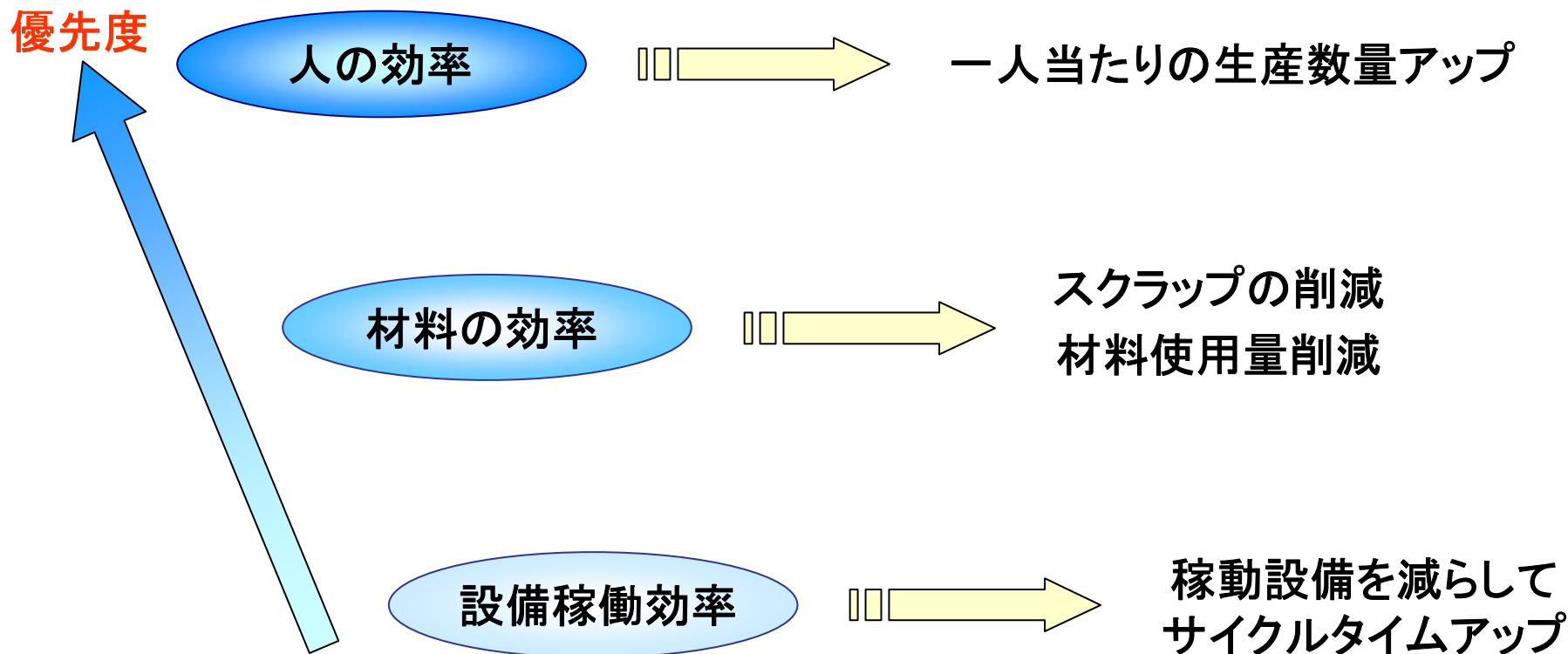
- ・ものづくりの効率アップ
- ・省エネルギー化
- ・新製品の開発

弱体事業の体質強化

ものづくりの効率アップ = 事業環境好転時へ向けた施策 =

どの効率アップを優先させるか

訪れる時へ向けた生産性向上への取り組み



省エネルギー化と省資源化への徹底した取組み ＝ 事業環境好転時へ向けた施策 ＝

省エネルギー工場を目指して

タイでの新工場で実現 ＝ 新たな取組み

- ・工程の集約化とエネルギー効率アップ
- ・電力使用量の4割削減を目指す
- ・切削油の回収効率アップ



ボールベアリング切削専用工場(タイ)

省資源化を目指して

- ・原材料の使用効率アップ
- ・水資源の再利用

新製品の開発 ＝ 事業環境好転時へ向けた施策 ＝

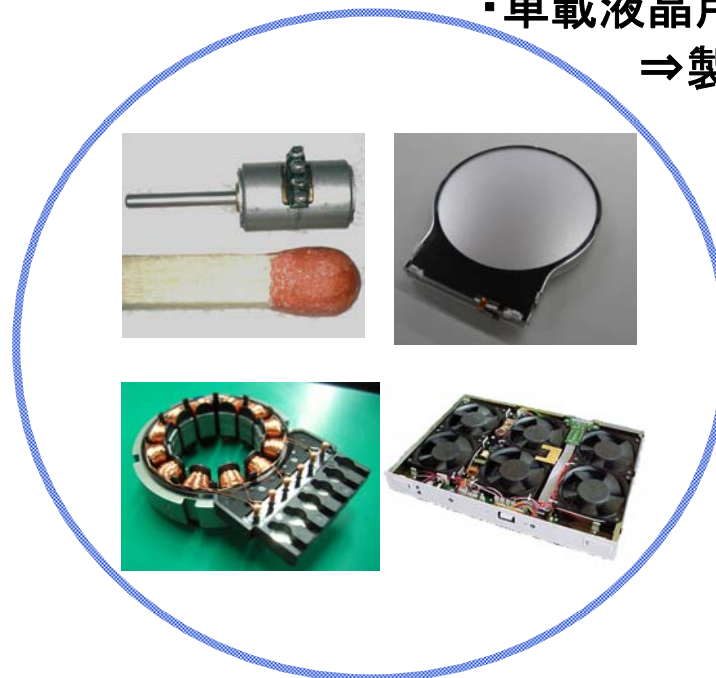
φ3 ステッピングモーターの事業化

- ・今期中に数十万台/月規模の量産を予定

車載液晶用LEDバックライト

(燃費計、ギヤシフト表示等のディスプレイ向け)

- ・車載液晶用LEDバックライト市場の成長
⇒製品領域拡大



車載用VRレゾルバ

(電動パワステ用角度センサー)

- ・航空機用部品技術応用製品
電動パワステ需要に応じて増産

HMSM

(Heat Management System Module)

- ・今年度下期に市場参入
・通信機器向けに積極受注活動展開

弱体事業の体質強化 ＝ モーター事業のもう一段の再編 ＝

HDDスピンドルモーターの方向転換

「販売数量400万台/月での利益化を目指す」＝ 今期目標の加速

- ・ 徹底したスリム化による損益分岐点引下げ — 低コストでの自動化
- ・ 一人当たりの生産数量倍増 — 人員削減と歩留まり改善
- ・ 2.5インチHDD用販売比率増加 — 50%以上が目標

ステッピングモーター事業の再編

- ・ ハイブリッドモーターとPMモーターに 旧 FDKモーターを加えた再編
— 組織の再編と市場・技術の融合 —

ミネベア製品
【中大型サイズ】



FDK製品
【小型サイズ】



成長を続けられる事業への積極投資 ＝ 航空機部品事業での拡大 ＝

ボールベアリング

- ・ チャッツワース工場 (U.S.A.) 生産能力拡大
中径サイズベアリング用切削・研磨設備を導入
- ・ ピーターボロー工場 (U.S.A.) 生産能力拡大
航空機エンジン向けローラーベアリング増産設備投資



ロッドエンド

- ・ 軽井沢工場新棟建設 (2009年3月完成予定)
生産能力拡大と大型メカパーツ拡大
- ・ ロップリ工場 (タイ) で国際特殊工程認証システム (NADCAP) の認証取得
タイにおいても航空機用ステンレスベアリング一貫生産が可能に (2008年5月)

ファスナー

- ・ 藤沢工場にて民間航空機向けファスナー量産体制確立



新たな財務戦略

財務体質の健全性の維持

- ・近年、増加したフリーキャッシュフローを優先的に負債削減に回してきた結果、ネット有利子負債は中期目標水準である1,000億円を今期末に達成する見込み
- ・今後も財務体質の健全性を維持

M&A

- 「シナジー効果と成長スピードの向上」
- ・FDKステッピングモーター事業譲渡の最終合意

自社株買い

- 「経営環境の変化に対応し、機動的な資本政策を遂行」
- ・自社株買い決議
〔取得株式総額35億円または取得株式総数1,000万株を上限〕
〔取得期間は2008年11月4日から12月16日まで〕

配当

- 「経営環境を総合的に勘案し、業績をより反映した配当水準」
- ・今期より中間配当スタート
(中間配当5円、期末配当予想5円、合計で年間10円配当予想)

ミネベア株式会社

決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。